

# 体育祭や課外活動を通して 地域との交流を深める

兵庫県立  
あわじ  
淡路聴覚特別支援学校  
全校幼児児童生徒数62名  
(男子38名 女子24名)  
電話番号 0799 (22) 1766

## 実践内容

### 実施目的

- ①体育祭（YU・らいふ・サポート事業）において、地域の方々と一緒に競技に参加することによって交流を深める。
- ②スポーツ（グラウンドゴルフ）大会を通して、運動の楽しさを味わい生涯スポーツの基本を獲得する。
- ③ダンス交流会（兵庫県立淡路三原高等学校、兵庫県立淡路特別支援学校、あゆみの部屋事業所）を通して交流を深める。

### 実施内容

#### 1 体育祭における合同種目の設定、実施（体育的行事）

- ・「ふれあい種目（紅白玉入れ）」を企画し、本校幼児児童生徒と地域の方々が一緒に参加する。
- ・玉入れのカゴは高低差のあるものを1つずつ準備し、車椅子の児童生徒や高いカゴに玉を入れるのが困難な人でも自分自身に合った形で玉入れができるようにした。また最初は低いカゴのみ、次に高いカゴにすることにより、一度にグラウンドに出る人数を制限し、安全面にも配慮した。
- ・体育祭に関わる全員が参加することのできる種目を設定し、実施する（フォークダンス）。
- ・フォークダンスの演目は誰もが知っているもの、また振り付け等が簡単で覚えやすいものにするこで、年齢や障害を問わずに全員が参加できるものにした（今年度は「タタロチカ」、「シューメーカーズダンス」）。

#### 2 グラウンドゴルフ大会の企画、実施

- ・高等部2年生と地域の方々が合同でグラウンドゴルフ大会を行う。
- ・地域の方々と本校生徒を同じグループにして競技を行うことで、より交流が深まるようにした。

#### 3 ダンス交流会の企画、実施（全校行事） ※本年度 11 月に実施予定

- ・兵庫県立淡路三原高等学校ダンス部との交流会を企画、実施。淡路地域の特別支援学校、事業所も合同で行う。
- ・兵庫県立淡路三原高等学校ダンス部の演技を見た後、4グループに分かれてダンス部員による指導を受ける。
- ・グループ別によるダンス披露。

### 実施上で工夫したこと

- ①全員が参加し、継続して行うことのできる種目を設定する。練習の際には使用する音楽や内容を分かり易いものにし、全員が無理なく楽しむことができたようにした。
- ②学校の特色（芝生）を生かしたスポーツ大会の内容を設定し、生涯スポーツの一環として年齢や性別に関係なく楽しめるようにした。
- ③ダンス交流については、淡路島島内の他の特別支援学校や地域の高等学校、事業所と交流を深めることができるようにグループ別に分けて交流を行うこととした。

## 主な成果

- ①体育祭や各行事を通して地域の方々と交流を深めることができた。
- ②行事を通して本校の幼児児童生徒とかかわることにより、地域の方々の本校に対する関心が高まった。
- ③これまで同じ学部や同じクラスの友達とかかわることの多かった幼児児童生徒が、他学部とかかわるようになってきた。高等部の生徒においては、現場実習等で校外に出た時に、保護者や教員以外の大人に対して臆することが減ってきた。



体育祭の様子①

体育祭に参加した全員でフォークダンス①



体育祭の様子②

地域の方々も一緒に参加

特別支援  
学校



体育祭の様子③

玉入れは全員が参加する恒例種目



体育祭の様子④

体育祭に参加した全員でフォークダンス②



グラウンドゴルフ大会の様子①

芝生を生かしたスポーツを通して交流を図る

※ダンス交流会は11月実施予定



グラウンドゴルフ大会の様子②

生涯スポーツの基礎を身に付ける